

A 1 5 0 (実習)		他社特許対応入門	
講座レベル ★★		他社特許に遭遇したときの対応方法を学ぶ 権利行使されたときのリスクを念頭入れた対応方針とは	
講師	八巻 隆博 (日本パテントデータサービス株) 部長、元 住友金属工業株 知的財産部長)		
日程・場所	東京会場		
	7 月 8 日 (火)、11 月 19 日 (水)		
時間	半日間 (13:30~16:30)		
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access.html		
定員	東京会場 : 24 名 (先着順申し込み)		
受講料	18,000 円 (税込 19,800 円)		
対象	知的財産部門、研究・開発部門、経営部門の方、それに準じる方。		
内 容			
<p>他社特許の存在を知るのは、自社内での特許調査で気づいたケース、他社からの警告書によって初めて知るケースや顧客から指摘されるケースなどがあります。</p> <p>本講座では、他社特許に遭遇した際の対応から、権利行使された場合のリスクを考慮した対応まで、幅広い対応力を養うための知識を学びます。</p> <p>知的財産関係の方のみならず、研究・開発や経営に関わる方にもお勧めします。</p> <p>※特許に基礎知識がある方向けの講座ですが、最低限の特許基礎知識については講義内で簡単に説明いたします。</p>			
プログラム			
1. 初期対応		3. 特許権の無効化・無害化	
• 相手先の調査		• 情報提供	
• 相手先の特許に関する調査		• 異議申立	
2. 対応方針の概要		• 無効審判	
• 特許権の無効化と無害化		4. 想定される特許権者からの権利行使	
• 侵害回避		▪ 差止め請求権	
• 先使用权		▪ 損害賠償請求権	
• ライセンスとクロスライセンス、他		▪ 不当利得返還請求権	
		▪ 補償金請求権、など	

【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。

URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application2025.html>**【備考】**

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。

セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。